



No. 2977

第3295回例会  
平成24年4月18日DISTRICT 2500  
**OBIHRO**  
ROTARY CLUB2011-12年度  
国際ロータリーのテーマReach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

方針

ロータリーを学び  
共に楽しもう

会長 加藤 維利

■プログラム  
「新会員卓話」

プログラム委員会

三浦 輝世典 会員



こんにちは。今年1月18日に入会させていただきちょうど3か月になりました。赤ちゃんでいえばようやく首が据わったかなという程度で、みなさんに支えていただかないと大変なものですから、可愛がっていただきたいと思います。

私は、昭和35年1月6日に大樹町で生まれました。その後帯広に移り、大谷第二幼稚園、柏小学校に行きました。10歳の時に父親が肝硬変で亡くなりました。人生で最初の大きな出来事でした。

初めに就いた仕事は、建築塗装の仕事でした。夜はディスコに通うようになり、踊りが好きで、人より上手になりたくて練習に明け暮れました。19か20歳の時に建築塗装の仕事を辞めて、「ディスコフィーバー」という店で働くようになりました。

その後、25歳の時に独立をして、結婚して、子供が生まれました。大変な年でした。ところがわずか1年ほどで大変な借金を抱え、やめることになりました。差押えもされました。もう駄目かなと思っていたら、その3年後、自分の事を応援してくれる方と出会い、29歳の時に「オデッセイ」というディスコをオープンさせました。これが結構当たりました。毎日、現金収入があり、借金も払えました。今度は毎日のようにゴルフに行く生活になりました。そんな時に、青年会議所に入らないかという誘いがありました。30歳の時です。帯広の経済界の人が通る道だということで、平成3年に入会しました。その時の理事長が奥周盛さん、副理事長が國枝千秋さん、アカデミー委員長が田中一郎さんでした。

青年会議所では北海点字図書館の後藤健市という人と知り合いました。彼と知り合ったことで自分の人生が大きく変わりました。38歳の時に「かに大将」という店をオープンさせたのは、彼との出会いがあったからです。詳しくは話ませんが、人との出会いは大事なと思います。

また本との出会いもありました。25歳の時に、藤田田さんの「ユダヤの商法」に衝撃を受け、「かに大将」を始めてからはジョセフ・マーフィーの「マーフィーの法則」を読んで影響を受けました。

50歳の時に初孫が、今年二人目の孫が生まれました。ロータリーとの出会いは、加藤会長とのご縁があったからです。澱んだ水は腐るとも言いますし、自分が慣れた状態にいとあまりよくない、なにか刺激を受けなければならないと思っていたところ、加藤会長に、そろそろ息子さんも育って時間がとれるんじゃないかとお誘いいただきました。

人との縁や出会いについて、鈴俣夢海(すずわむかい)さんという方が書いた作品をたまたま見つけました。自分にぴったり合うなと思いましたのでみなさんにご紹介いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。



## 「温暖化と食糧危機」

曾我 彰夫 会員



私は、「温暖化」というより「熱帯化」に向かっていると思っています。食糧危機は決して大げさではありません。これから時間の許す限り検証します。

最近、夏に本州で起きるゲリラ豪雨は、熱帯特有のスコールだと思います。また爆弾低気圧も、豪雨や台風並みの強風の熱帯低気圧だと思っています。さらに台風が巨大化していて、少し前なら国内で最大風速は30mが精々でしたが、今は50m以上というのがあります。米国のハリケーンは80m以上、100mのものもあります。日本でも大きな竜巻が発生するようになりました。数年前にはオホーツクで発生し、数人が犠牲になりトラックなども巻き上げられました。

2006～07年、オーストラリアで2年連続の大干ばつがありました。小麦の収量が平年の36%になりました。2002年にも同様に大干ばつがあり恒常化しつつあります。その後、毎年のように中国やロシアでも大干ばつがあり、反対にタイやヨーロッパの一部では大洪水に見舞われています。農業が大変です。

CO2やフロンガスの排出により南極、北極などのオゾン層が破壊され紫外線を直接浴びることにより、人や動植物に大きな影響が出そうです。今後、ツンドラ地方の氷河が融けるとメタンガスが発生し、オゾンホールがさらに拡大しそうです。メタンガスの威力は、CO2の10倍あると言われます。

熱帯化により、南極・北極の氷が融け海水の水位が上昇して、世界の平野部が、段々と水没します。既に太平洋上のツバルの島々が水没の危機にあり、さらにアメリカ最大のロッキー山脈の氷河、そしてヒマラヤ山脈やロシアのツンドラ地帯の氷も融け出していて海面上昇の原因になっています。農地が減ってしまいます。

アメリカの北中央部の穀倉地帯では地下水が底をつき、スプリンクラーで撒く水が、近い将来不足しそうです。水がないと小麦やとうもろこし、大豆も出来ません。

そして人口問題です。世界の人口は、いま約70億人です。世界で1年に約8000万人が増えます。5年で4億人、10年で8億人の増加です。食糧危機の原因になります。

以上の現象の前に、既に目に見える事象が出ています。10年以上前は、北海道の米は安いけど、美味しくないという評判でした。しかし今は、日本の中で1番美味しい米になりました。収穫量も県別では日本一です。十勝でも、メロン・スイカや温泉マンゴーが獲れました。魚のエイがオホーツク海で、トラフグが北海道の太平洋沿岸で獲れました。

最高気温40℃以上が3日以上続くとか葉物野菜は枯れます。日本ではこの温度は何日も続きませんが、既に群馬県や岐阜県、千葉県で1日ですが経験しています。ですから、40～50年後は、関東地方はバナナ、パイナップルの産地になっていることも冗談の話ではありません。

では、その解決策ですが、極端な例ですが一つだけ述べます。

日本では自衛隊・世界では軍隊が農業に就くのです。働き盛りの多い軍隊で、土木機械などは農業機械に転用できます。

少なめに見ても、世界に約3000万人の軍人がいます。空き地、ゴルフ場、公園など本当に食料がなくなれば、あらゆる土地が有効利用できます。心配は、かつてのように水や食料を得るための戦争がなければと思います。

日本の食料自給率が40%もないということに私は恐れをしています。TPPに参加するということより、自給率を上げて我々が食に困らないような施策をしてもらいたいと思っています。

## ■会長報告

加藤 維利 会長



1905年2月23日のシカゴRCクラブの1回目の例会については、いろいろな場面で話されています。1回目の会合では「一人一業種で親睦を深める会を作る」という設立の主旨が話されました。

1905年3月9日の2回目の会合は、ポールハリスの事務所で行われました。この時には最初の4人に加えて、ハリスの勧誘により印刷業のハリー・ラグルス、ラグルスの紹介で不動産業のウィリアム・ジェンセン、楽器製造業のアルバート・ホワイトが参加しました。ラグルスは例会での合唱をとりいれた人で、シカゴクラブの第4代会長でした。ホワイトは第2代会長です。この会合では事業の経営者、共同経営者、会社役員でなければ会員になれないということが決められました。

3回目の会合は3月23日にシルベスター・シールの事務所の石炭置き場で開催されました。この会合ではシールが初代会長に、ショーレーが記録担当幹事に、ジェンセンが連絡担当幹事に、ラグルスを会計にと割り当てられました。

また、この会合では新クラブの名称の検討が行われました。例えば「ブースタークラブ」、訳すと推進者クラブです。この頃アメリカの流行語でどこの町や大学にもブースタ組織がありました。しかし誰も賛成する人はいませんでした。ラウンド・テーブル・クラブ、コンスピレーターズ・クラブ（共謀者）、ザ・シカゴ・フェロウシップ、ザ・ブルーボーイズ、シカゴ・サークル、その他にも10以上の名称が検討されました。その中でもラウンド・テーブル・クラブは真剣に議論されましたが、最終的には採用されませんでした。最後に提案されたのが「ロータリー・クラブ」と言われています。1回目、2回目、3回目とお互いの事務所で、持ち回りで会合を開いていることがその理由でした。

「THE FIRST ROTARIAN」という本の中には、この名前を思いついたのはハリスだと書いてありますが、実は残念なことに、記録担当幹事のショーレーはそのことを記録していませんでした。そのため誰なのかは今でも分からないままになっています。

6回目までは各事務所を持ち回りで会合を開いていたが、7回目からはシカゴのいろいろな地区のホテルやレストランで行われることになりました。この時から例会で食事をする習慣が始まりました。

実は6回目の会合はハリー・ラグルスの印刷工場で行われました。3回目から参加している、チャールズ・A・ニュートンが遅刻をしてきたのでみんなが文句を言ったところ、「忙しくて、

朝から何も食べておらず、お腹がすいたので食事をとってきたのだ」と話しました。それではということで、例会での食事が始まりました。

このようにして、ごく初期の頃から出来上がった決まり事は、今日の我々のロータリークラブの大原則や一般的になっているものがたくさんあります。

本日は1905年2月23日の次の例会から7回目の例会までをかつまんで話しました。これらのことを記憶するのが必要なのかは別にして、たった7回までの間にこれだけの重要なことがあったことをお伝えして会長報告とさせていただきます。

## ■会務報告

和田 賢二 幹事

(1)帯 広RC、花見夜間例会開催のご案内

日 時 5月9日(水)午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

(2)帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 4月23日(月)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(3)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 4月26日(水)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(4)帯広北RC・帯広東RC・音更RC、3RC合同例会開催のご案内

日 時 4月27日(金)午後0時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広東RCは、4月24日(火)の繰下げ例会と致します。

(5)・帯広南RC、4月30日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帯広東RC、5月1日(火)の例会は、休会と致します。

・帯 広RC、5月2日(水)の例会は、休会と致します。

・帯広西RC、5月3日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帯広北RC、5月4日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

## ■次年度2500地区委員会委員委嘱状伝達 (奥原次年度会長)

讃岐武史 米山奨学会運営委員会 副委員長

渡辺喜代美 米山奨学会運営委員会 副委員長

合田倫佳 国際青少年交換委員会 委員

(奥周盛 地区財団委員長)既に伝達



## ■委員会報告

・社会奉仕委員会

大江 徹 委員長

市民フォーラム「アンチスティグマ〜偏見や差別のない社会へ〜」(6/23)について

・新世代奉仕委員会

太田 隆博 委員長

ロータアクトによるチャリティ・フリーマーケットへの協力について

## ■次週プログラム

4月25日(水)「会員卓話」森 武夫 会員 (プログラム委員会)

## ロータリー情報

国際ロータリー第2500地区2012-13年度テーマ

ガバナー 櫻田 正弘氏(北見東RC)

「心と心、笑顔と笑顔 今 奉仕のために行動を起こそう」

皆さん、「私は何者か(Who am I?)」と自問したことはありますか。この問いは人間の永遠の課題であります。そして今、田中作次RI会長エレクトのおかげで再び「私は何者か」と自問する機会に恵まれましたと、この度の国際協議会の中で、ラジエンドラ・K・サバー元RI会長は語っておられます。

ロータリーでは、どこでも、あらゆるところで奉仕の機会を見つけることができます。奉仕とは、人それぞれの形で自己を高めてくれるものだと思います。田中RI会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」を目指して、平和実現のために私達のできる奉仕を見つけましょう。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例 会 日/水曜日 12:30~13:30  
例会会場/ホテル日航ノースランド帯広  
TEL0155-24-1234

●創 立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F  
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発 行/クラブ広報

●委 員 長/安岡美樹夫

高原 淳・田守 由宗・北野 宏明

堀江 威光・辺見 京一・加藤 敏紀

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.jp